

C06 自治体職員のための金融基礎講座(資金調達入門③)	
平均所要時間	60分
対象業務	財政、起債、資金運用、地方公会計、一般会計各事業、公営企業各事業、管理職の方
難易度	★☆☆
学習の目的	地方公共団体における資金調達手段の1つである銀行等引受債について、借入金利の構成要素や金融機関の考え方について理解し、借入金利の妥当性を検討するうえでの基礎的金融知識について学ぶ。
前提知識	特になし
学習目標	「学習の目的」と同様
コース構成	<p>1. 金利見直し方式の借入 [13:27] 貸出期間(償還年限)に関する金融機関の考え方 / 金融機関にとっての金利変動リスクとは / 金融機関と自治体の考え方の違い / 「金利見直し方式」について / 【参考】金利見直し(借換え)方式の採用時の判断事例 / 金利見直し方式(新規借入分)の留意点 / 金利見直し方式(既存借入分)の留意点 1 / 金利見直し方式(既存借入分)の留意点 2 / 金利制約の確認 / 【参考】借換債に係る地方債協議手続 / 【参考】予算案上の地方債の利率の記載 / 【参考】金利見直しルールの事例 1 / 【参考】金利見直しルールの事例 2</p> <p>2. 銀行引受債の借入交渉ポイント [4:14] 金融機関における自治体向け貸出のメリット / 銀行との3大交渉項目について / 金利交渉のポイント</p> <p>3. 入札・見積合わせ方式 [6:06] 相対・入札方式のメリット・デメリット / 様々な入札方式 / 入札の具体例 / 【参考】金融機関の組織と役割とウラ話 / 【参考】金融機関から見た自治体取引(総合採算)</p> <p>【参考】「出前講座」「実務支援」(個別相談)のご紹介 [2:59]</p>